

公開国際シンポジウム

北東アジアの

モンゴルと韓国から非核政策の立役者を迎えて

非核化と平和

2013年6月23日(日) 14時～16時半

場所／長崎原爆資料館ホール 入場料無料(事前予約不要)

※駐車スペースが限られておりますので、できるだけ公共交通機関をご利用の上お越しください。

「核兵器のない世界」を実現する道において、北東アジアの非核化は避けることのできない課題だ。この地域における最近の緊張激化を克服するためにも非核化が一つの鍵となる。被爆地長崎から私たちにできることは何だろうか？

このことを考えるために、今回、またとない二人の高名なゲストを迎えることができた。モンゴルから、大統領顧問としてモンゴルを世界公認の一国非核兵器地帯に導いたエンクサイハン大使。韓国から大統領顧問や国家安全保障会議諮問委員を務めながら、二度の南北首脳会談に陪席した唯一人の政治学者、文正仁教授。お二人の話聞きながら、皆さんとともに考えたい。

プログラム(同時通訳付)

■イントロダクション

■梅林宏道(RECNAセンター長)

■基調講演

■「非核国家モンゴルの20年——経緯と意義」

■ジャルガルサイハン・エンクサイハン(モンゴル特命全權大使、NGO「ブルーバナー」理事)

■「朝鮮半島の危機を超える」

■文正仁(ムン・ジョンイン)(韓国・延世大学教授、国家安全保障会議諮問委員)

■パネル討論／質疑

ジャルガルサイハン・エンクサイハン

モンゴル特命全權大使。NGO「ブルーバナー」理事。モンゴル大統領の外交政策顧問として、モンゴルの「一国非核兵器地位」を提唱し、国連総会決議「モンゴルの国際安全保障と非核兵器地位」(1998)によって国際的な承認を勝ち取った。その後その制度化に取り組み5核兵器国の共同声明(2012)を生んだ。ニューヨーク国連本部モンゴル代表、国際原子力機関(IAEA)総会議長などを歴任。外交官を引退後も、公私にわたり核軍縮・不拡散の分野で活躍している。

文正仁(ムン・ジョンイン)

韓国・延世大学教授(政治外交)。アメリカのメリーランド大学にてPh.D取得後、ウィリアムズ大学、ケンタッキー大学の教授等を経て現職。現在、アメリカのデューク大学、スイスのジュネーブ大学の兼任教授。金大中時代の大統領諮問委員会委員長(長官級、2004-2005)を歴任。朝鮮半島・南北首脳会談には2回とも同席した唯一の政治学者。現在、大統領府・国家安全保障会議(NSC)、外交通商部・国防部の諮問委員を兼務。その他、国家安保大使、大統領直属・国防発展諮問委員会委員、東アジア財団と国際交流財団の理事。

■ 共催 核兵器廃絶長崎連絡協議会(PCU-NC)／長崎大学／長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)

■ お問い合わせ先 長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA) 〒852-8521 長崎市文教町1-14 TEL: 095-819-2164 FAX: 095-819-2165

recna_staff@ml.nagasaki-u.ac.jp <http://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/>